

第9回
11月6日

2008年 途上国経済講義

後期集中 山崎圭一 (横浜国大経済学部) (中) 済川 109

★連絡

- 1 横浜市資源循環局の保土ヶ谷工場への見学ツアーを企画しています。11月7日（金曜日）の14時に現地集合です。国大経済学前なら、13:30集合です。
- 2 12月と1月に、J E C Kの専門家による特別講義を準備しています。日本の対途上国ODAの実態と生の情報が、ダイレクトにもたらされます。国際協力最前線のようなすが、わかります。日程は詰めている段階ですが、おそらくある週の木曜日の1時限（8:50～）と2時限（10:30～）で、それを2週分。つまり4回分となります。1時限については、ほかの講義と重なる人は、ご勘弁ください。

第3章 開発の理論

- 1 資本の本源的蓄積 (primitive accumulation of capital)
- 2 経済史の基礎知識
 - ・ 西洋
 - ・ 日本
 - ・ ラテン・アメリカ
 - ・ タイなど植民地経験のない国は？

封建時代 → 絶対主義（過渡期） → 資本主義（競争的） → 独占資本主義 → 現代資本主義
————— 本源的蓄積期

ペルー、メキシコ
古代的国家（奴隷制） → 絶対主義による植民地支配 → 1820年代に独立

ブラジル、アメリカ
先住民社会（国家をつくらず） → 植民地支配 → 独立 → 奴隷解放 = 労働力市場形成

- 3 価値の理論
 - ・ 労働力商品とは？
 - ・ なぜ、賃金は年齢がたかくなるにつれて、上昇するのか。能力は逓減するようにも、思えるが…。
- 4 グラフをどう読むか
- 5 需要と供給の理論
- 6 制度とインセンティブ
契約の諸理論

(以上、第2節まで)